

質問	アレンドロン酸錠 35mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	アレンドロン酸錠 35mg は 55℃の温湯で 5 分以内に崩壊・懸濁し、8Fr.のチューブを通過しています。詳しくは添付のデータをご覧ください。 【参考】 添付文書抜粋 〈禁忌〉 (2) 30 分以上上体を起こしていることや立っていることのできない患者 添付文書抜粋 〈用法及び用量に関連する使用上の注意〉 (2) 食道及び局所への副作用の可能性を低下させるため、速やかに胃内へと到達させることが重要である。服用に際しては、以下の事項に注意すること。 1) 起床してすぐにコップ 1 杯の水（約 180mL）とともに服用すること。 2) 口腔咽頭部に潰瘍を生じる可能性があるため、本剤を嚙んだり又は口中で溶かしたりしないこと。 3) 本剤を服用後、少なくとも 30 分経ってからその日の最初の食事を摂り、食事を終えるまで横にならないこと。 4) 就寝時又は起床前に服用しないこと。 なお、この資料は本剤の懸濁状態及びチューブ通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。 本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。
参考資料	【アレンドロン酸錠 35mg「DK」】 簡易懸濁法に関する資料